

目 次

巻頭言 米川元樹

各部門報告

主要論文(2001年)

- ・No-needle blood access device for hemodialysis and no-needle connecting cannula assembly (K-NOBA PAT./JAP2983540). Kawamura A, et al. J Artif Organs 4: 161-164, 2001
- ・Experimental study using heparin-immobilized adsorbent of EDA(+)-fibronectin. Yonekawa M, et al. Therapeutic Apheresis 5(6): 476-479, 2001
- ・急性肝不全に対する各種血液浄化法の適応と限界. ICUとCCU 25(別冊): S5-S6, 2001
- ・Problems of double-lumen catheter used for blood purification and their improvement. Kukita K, et al. J Artif Organs 4: 42-45, 2001
- ・虚血再灌流傷害とガス状メディエーター. 玉置 透. 低温医学 27(1): 1-5, 2001
- ・腎移植に対する新しいアフエーシス治療. 田中三津子, 他. 低温医学 27(2): 47-51, 2001
- ・連続携行式腹膜透析における硬化性被嚢性性腹膜炎症例の検討. 増子佳弘, 他. 北海道外科雑誌 46(2): 44-49, 2001
- ・TMAのガイドライン. 笠井正晴. 分子細胞治療 2(2): 196-199, 2001.
- ・除菌終了後の効果判定の時期は4週以降とされているが, 実際はどの時期におこなえばよいのか? 斎藤雅雄. Helicobacter Research 5(3): 213-215, 2001.
- ・Giant Bullaの治療における三次元CT画像の臨床的検討. 本田哲史. 気胸 3: 13-18, 2001

学会発表

国際学会発表(2001年)

全国学会発表(平成13年)

地方会発表(平成13年)

発表論文

邦文(平成13年)

英文(2001年)

講演会・研究会報告

編集後記 笠井正晴

院内感染に思う

特定医療法人北楡会 札幌北楡病院
院長 米川元樹

院内感染とは、病院内での微生物接触によって引き起こされた感染症の総称である。これには主として入院患者が、現疾患とは別に新たに罹患した感染と、医療従事者が病院内で感染したものとがあるが、問題となるのは前者の方で、これによる訴訟が増加の一途をたどっている。マスコミの論調はおしなべて院内感染を医療事故として扱い、病院側の不手際と決め付けることが多い。もし仮に、集団感染で病院側の管理に問題ありとされれば、施設の存続すらも危うくなることもあり、どこの施設でも院内感染対策に時間と労力を割かれ、対策費用も馬鹿にならない。院内感染に対して医療者も含めて、世の中全体にあまりにも過敏になりすぎ、過剰な労力とお金を費やしているように思えてならない。

そもそも病院とは基本的に病院外よりも感染症の患者さんが圧倒的に多いところであり、感染症にいたらしめる微生物の種類も多い。病院は微生物のデパートである。日和見感染の原因となる弱毒菌はどこにでもいるし、おまけに患者さんや訪問者が外から持ち込むものも多い。微生物の侵入を阻止したり、院内から一掃することなど全く不可能である。われわれ医療者も患者さんも微生物にさらされており、その中に生活するという事は、とりまなおさず感染症にかかるリスクも非常に大きいことを意味する。世の中で最も病原性微生物に汚染されている場所が、他人に微生物が異動しないようにそのコントロールを最大限要求されているのである。病院で亡くなる患者さんの8割以上は末期には何らかの感染症を併発している。併発した感染症は院内感染ということになる。ほとんどは抵抗力がなくなって感染症を引き起こすわけであるから、これは不可抗力であるが、家族の中には院内感染によって死に至ったと勘違いする方が次第に増えているのが現状である。われわれ医療者は、メディアによって一般市民に間違って植えつけられた院内感染という言葉の被害者である。日々の診療の中で、第一線の医師が患者さんや家族に「これは院内感染ではありません」と説明するのに、どれくらい時間と労力を費やしているか、メディアの方はご存じだろうか。院内感染には不可抗力のものと医療者側のミスによって生じたものがあり、大部分は不可抗力によるものであるということをもっと世間一般に知らしめてほしいものである。

感染対策委員会ではタオルは不潔だということになり、温風乾燥がよいという意見が出たと思ったら、温風乾燥器の近くの部屋ではうるさいから紙タオルの方がよいという意見も出る。実際、紙タオルにしている施設も多いようであるが、紙タオルを作るには非常に多くの資源が使われている。これはエコロジーの専門家から見ると大変な問題である。毎回毎回手洗いのたびに紙タオルを使用したら、その年間使用量たるや一施設だけでもかなりのものになるだろう。感染対策費用はうなぎのぼりであり、黙っているとどまるところを知らない。医師や看護師などの医療者は次々患者さんのところを歩き回って接触するわけで、あたかも花の間を飛び回るミツバチのようなものである。次の花に前の花の花粉(菌)を移さないような対処は必要であろう。しかし、ミツバチがいなくとも、隣の花粉がとんできるのは当たり前で、防ぎ用はない。院内感染対策論議も行き過ぎると、次第に医療の本質から遠ざかったものになるような気が

してならない。メディアも医療者側の不備をつくばかりでなく、理想とされる病院を作って見せて欲しいものである。

国際学会発表

2001 年

- The 3rd World Congress of International Society for Apheresis (January 11-14, 2001 = Taipei, Taiwan)
(Symposium) Cryofiltration apheresis for removal of anti-blood group antibodies for major ABO incompatible renal transplantation
Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital
Y. Masuko, J. Arikura,
S. Tsuchihashi, N. Murai, T. Kaizu,
J. Iida, T. Horie, M. Tanaka,
T. Tamaki, K. Kukita, J. Meguro,
M. Yonekawa, A. Kawamura

- The Indication and limitation of apheresis therapy in acute hepatic failure
Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital
T. Horie, J. Arikura, Y. Masuko,
M. Tanaka, J. Meguro, T. Tamaki,
K. Kukita, M. Yonekawa,
A. Kawamura

- 5th International Symposium - Management Strategies in Systemic Fungal Infection –
(March 8-10, 2001 = Malta)
Effects of famotidine on pharmacokinetics of itraconazole
Dept. of Internal Medicine, Sapporo Hokuyu Hospital
T. Ogawa

- American Society of Clinical Oncology, 2001 Annual Meeting (May 12-15, 2001 = San Francisco, USA)
Pre-treatment variables affecting serum rituximab levels in relapsed patients with indolent B-cell non-Hodgkin's lymphoma (B-NHL)
IDEC-C2B8 Study Group
T. Igarashi, Y. Sasaki, M. Ogura,
Y. Morishima, T. Kinoshita,
N. Uike, M. Taniwaki, Y. Kano,
M. Kasai, K. Ohnishi, Y. Kobayashi,
K. Tobinai

- Prolonged cytopenia and myelodysplastic syndrome (MDS) in relapsed PTS with indolent non-Hodgkin's lymphoma (I-NHL) treated with cladribine
The Cladribine Study Group
K. Tobinai, Y. Kobayashi,
Y. Morishima, M. Ogura, N. Uike,
T. Chou, S. Sugai, M. Kasai,
I. Miura, T. Murayama

- The 19th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification (September 7-9, 2001 = Tokyo, Japan)
 - Irradiation effect after percutaneous transluminal angioplasty (PTA) in AV fistula of dialysis patients
 - Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital
 - K. Kukita, Y. Masuko, J. Gotoh,
A. Ikeda, S. Tsuchihashi, N. Murai,
J. Iida, T. Horie, M. Tanaka,
T. Tamaki, J. Meguro,
M. Yonekawa, A. Kawamura

- The 13th World Congress of International Society for Artificial Organs (November 5-8, 2001 = Osaka, Japan)
 - Heparin adsorption for immune diseases
 - Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital
 - M. Yonekawa, A. Kawamura,
K. Kukita, T. Tamaki, M. Tanaka,
J. Meguro

- American Society of Hematology, 43rd Annual Meeting (December 7-11, 2001 = Orlando, USA)
 - Induction of WT1-specific cytotoxic T lymphocytes using dendritic cells pulsed with WT1 peptide
 - Dept. of Int. Med., Sapporo Hokuyu Hospital,
Research Institute for Artificial Organs, Transplantation & Gene Therapy
 - M. Ogasawara, T. Tohbai,
Y. Kondo, T. Ogawa, K. Imai,
N. Kobayashi, Y. Kiyama, T. Higa,
M. Kasai

- Dept. of Hematol. & Oncol., Hokkaido Univ.
 - J. Tanaka, M. Imamura

全国学会

2001 年

・第 34 回日本腎移植臨床研究会(平成 13 年 1 月 23 ~ 25 日 = 熱海)

(ビデオプログラム)ハーモニックスカルペルを使用した後腹膜鏡補助下ドナー腎摘出術

札幌北榆病院 外科

目黒 順一, 増子 佳弘, 玉置 透,
有倉 潤, 土橋誠一郎, 海津 貴史,
村井 紀元, 飯田 潤一, 堀江 卓,
田中三津子, 久木田和丘, 米川 元樹,
川村 明夫

再発性巣状糸球体硬化症 (FSGS) に対する Leukocytapheresis (LCAP) の試み

札幌北榆病院 外科

玉置 透, 田中三津子, 有倉 潤,
土橋誠一郎, 海津 貴史, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

Uremic Neuropathy に対する生体腎移植術

札幌北榆病院 外科

田中三津子, 玉置 透, 有倉 潤,
土橋誠一郎, 海津 貴史, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

ミコフェノール酸モフェチル製剤投与後に発症した多発性関節炎の生体腎移植症例

札幌北榆病院 外科

田中三津子, 玉置 透, 有倉 潤,
土橋誠一郎, 海津 貴史, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

自己管理援助におけるコミュニケーションの重要性 - 服薬援助に苦慮した事例を通して -

札幌北榆病院 第6病棟

成田 円, 川島有美子, 岡元 由紀,
源川 裕乃, 鈴木 雅永, 栗坪 睦子

腎移植後の患者の心理状況と社会適応

札幌北榆病院 療養情報センター

星 奈美恵

・日本医工学治療学会第 16 回学術大会(平成 13 年 2 月 9, 10 日 = 名古屋)

(教育講演)効率よく血液浄化を行うための院内組織確立の工夫

札幌北榆病院 人工臓器治療センター

川村 明夫

(カレントコンセプト)体外免疫調節簡易化の可能性

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

米川 元樹, 川村 明夫, 玉置 透,
田中三津子, 久木田和丘, 目黒 順一,
堀江 卓, 増子 佳弘

カニューレ挿入時の安全性を高めた非穿刺型ブラッドアクセス (K-NOBA)

札幌北榆病院 外科

川村 明夫, 米川 元樹, 久木田和丘,
目黒 順一, 玉置 透, 田中三津子,
堀江 卓, 増子 佳弘, 飯田 潤一,
村井 紀元, 海津 貴史, 土橋誠一郎,
有倉 潤

札幌北榆病院 人工臓器治療センター

阿部 博

新しいトランスフェリンレセプター試薬による腎性貧血患者での測定意義

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 有倉 潤, 土橋誠一郎,
海津 貴史, 村井 紀元, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

旭川医科大学 第3内科

高後 裕

手術麻酔鎮静時の nasal CPAP の有用性

札幌北榆病院 麻酔科

札幌北榆病院 外科

中尾 康夫, 沼澤 理絵

久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

{シンポジウム} 当センターにおける看護業務の現状と今後

札幌北榆病院 人工臓器治療センター

札幌北榆病院 外科

阿部 博, 栗坪 睦子

久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

・第4回骨髄バンク公開フォーラム(平成13年2月11日=東京)

{パネルディスカッション} 患者救命と病院体制について

札幌北榆病院 療養情報センター

星 奈美恵

・第6回ブラッドアクセスインターベンション治療研究会(平成13年3月3日=東京)

{パネルディスカッション} バルーン経皮的血管拡張術時におけるカラー血管内エコーの有用性

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 有倉 潤, 土橋誠一郎,
海津 貴史, 村井 紀元, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

・第21回日本アフェレシス学会学術大会(平成13年3月24,25日=京都)

{シンポジウム} アフェレシス治療による免疫の変動

札幌北榆病院 外科

米川 元樹, 川村 明夫, 久木田和丘,
目黒 順一, 玉置 透

{シンポジウム} 多臓器不全 (MOF) 症例の治療成績と対策

札幌北榆病院 外科

目黒 順一

{ワークショップ} アフェレシス治療拡大の経済的戦略

札幌北榆病院 外科

川村 明夫

クライオフィльтраレーション施行時の血液循環量の変動

札幌北榆病院 臨床工学技士

住田 知規, 伊藤 憲史, 那須野優美,
土濃塚広樹, 阿部 博

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

当科における骨髄移植関連血栓性微小血管症 (BMT-TMA) の検討

札幌北榆病院 内科

小林 直樹, 菅 正之, 近藤 恵一,
山口 薫子, 小川 貴史, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

当院における高齢者をドナーとした同種末梢血幹細胞移植の経験

札幌北榆病院 内科

小川 貴史, 近藤 恵一, 山口 薫子,
小林 直樹, 小笠原正浩, 木山 善雄,
直原 徹, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

第 41 回日本呼吸器学会総会(平成 13 年 4 月 4~6 日 = 東京)

肺気腫症例に対する外科治療におけるヘリカルスキャン三次元CT画像の有用性

札幌北榆病院 呼吸器科

本田 哲史

第 101 回日本外科学会総会(平成 13 年 4 月 11~13 日 = 仙台)

肝虚血再灌流傷害に対する NF- B の特異的転写阻害剤の効果

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

土橋誠一郎, 玉置 透, 田中三津子,
海津 貴史, 村井 紀元, 増子 佳弘,
川村 明夫

北里大 外科

柿田 章

Heme oxygenase (HO)-1 酵素の誘導発現とラット肝虚血耐性獲得におけるその機能的役割

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

内田 泰至, 玉置 透, 田中三津子,
土橋誠一郎, 海津 貴史, 川村 明夫

北里大 外科

柿田 章

第 87 回日本消化器病学会総会(平成 13 年 4 月 18~20 日 = 東京)

当院における潰瘍性大腸炎に対する Finecell filter を用いた白血球除去療法 (LCAP) の治療経験 - 第三報 -

札幌北榆病院 消化器科

大泉 弘子, 斎藤 雅雄, 鎌田 豪,
中井 義仁, 加藤 寛士, 川村 直之

札幌北榆病院 外科

米川 元樹, 川村 明夫

第 63 回日本血液学会総会(平成 13 年 4 月 19~21 日 = 名古屋)

同種末梢血幹細胞採取不良例における骨髄採取の検討

札幌北榆病院 内科

小林 直樹, 菅 正之, 近藤 恵一,
山口 薫子, 小川 貴史, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

樹状細胞を用いた WT1 特異的キラーT 細胞の誘導
札幌北榆病院 内科

小笠原正浩, 菅 正之, 近藤 恵一,
山口 薫子, 小川 貴史, 小林 直樹,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

[The 3rd Asian Hematology Session] Analysis of microsatellite alterations in hematological malignancies
札幌北榆病院 内科

小川 貴史, 菅 正之, 近藤 恵一,
山口 薫子, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

NHL 新効果判定基準の rituximab 第 相試験への運用の試み
愛知がんセンター

田地 浩史, 鏡味 良豊, 小倉美知則,
森島 泰雄
鶴池 直邦
加納 康彦
笠井 正晴
木下 朝博
五十嵐忠彦
小林 幸夫, 飛内賢正

九州がんセンター

栃木がんセンター

札幌北榆病院

名古屋大学

国立がんセンター東

国立がんセンター中央

・日本麻酔学会第 48 回大会(平成 13 年 4 月 26 ~ 28 日 = 神戸)
維持透析患者の麻酔科管理手術症例 640 例の検討
札幌北榆病院 麻酔科

中尾 康夫, 沼澤 理絵

・第 18 回日本呼吸器外科学会総会(平成 13 年 5 月 10, 11 日 = 東京)
胸膜中皮腫を疑われ胸腔鏡下肺部分切除術にて Solitary fibrous tumor of the pleura と診断された一例
札幌北榆病院 呼吸器科・気胸センター

本田 哲史

・第 61 回日本消化器内視鏡学会総会(平成 13 年 5 月 10 ~ 12 日 = 神戸)
〔パネルディスカッション〕免疫不全状態に発症したサイトメガロウイルス腸炎の 3 例

札幌北榆病院 消化器科

大泉 弘子, 鎌田 豪, 中井 義仁,
加藤 寛士, 川村 直之, 斎藤 雅雄
直原 徹, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

札幌北榆病院 内科

Proton Pump Inhibitor (PPI) 抵抗性潰瘍 9 例の検討
札幌北榆病院 消化器科

川村 直之, 鎌田 豪, 中井 義仁,
加藤 寛士, 大泉 弘子, 斎藤 雅雄

胃間葉系細胞腫瘍の 2 例

札幌北榆病院 消化器科

中井 義仁, 大泉 弘子, 鎌田 豪,
加藤 寛士, 川村 直之, 斎藤 雅雄
直原 徹, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

札幌北榆病院 内科

消化管病変がみられた原発性アミロイドーシスの一例
札幌北榆病院 消化器科

鎌田 豪, 中井 義仁, 加藤 寛士,
川村 直之, 大泉 弘子, 斎藤 雅雄

第 24 回日本気管支学会総会(平成 13 年 5 月 24, 25 日 = 千葉)

肺気腫に対する Volume Reduction Surgery における 3D-CT の有用性

札幌北榆病院 呼吸器科・気胸センター

本田 哲史

第 49 回日本輸血学会総会(平成 13 年 5 月 31 日 ~ 6 月 2 日 = 東京)

アフェリシス PC の保存における VEGF レベルの増加

北海道赤十字血液センター

若本志乃舞, 藤原 満博, 葛間 一裕,
佐藤進一郎, 秋野 光明, 池淵 研二,
池田 久實

札幌北榆病院 内科

直原 徹, 笠井 正晴

第 10 回腎不全外科研究会(平成 13 年 6 月 8, 9 日 = 鎌倉)

CAPD 腹膜炎を繰り返す症例におけるメッシュ法による腹壁癒痕ヘルニアの手術経験

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 有倉 潤, 土橋誠一郎,
村井 紀元, 海津 貴史, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

維持透析患者周術期の輸血

札幌北榆病院 麻酔科

札幌北榆病院 輸血部

札幌北榆病院 外科

中尾 康夫, 沼澤 理絵

三浦 玲子

久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

第 46 回日本透析医学会学術集会・総会(平成 13 年 6 月 22 ~ 24 日 = 大阪)

(ランチョンセミナー)カテーテル構造の違いによる特性および臨床評価

札幌北榆病院 外科

久木田和丘

(ワークショップ)経皮的血管拡張術後における内照射併用療法の内シャント開存率向上効果

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 増子 佳弘, 米川 元樹,
川村 明夫

非穿刺型ブラッドアクセス K-NOBA の改良

札幌北榆病院 外科

川村 明夫, 米川 元樹, 久木田和丘,
飯田 潤一

腎性上皮小体機能亢進症に対するオキサロール静脈投与の有用性

札幌北榆病院 外科

堀江 卓, 久木田和丘, 有倉 潤,
海津 貴史, 村井 紀元, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 田中三津子, 玉置 透,
目黒 順一, 米川 元樹, 川村 明夫

内シャント静脈表在化症例の検討
札幌北榆病院 外科

有倉 潤, 久木田和丘, 村井 紀元,
海津 貴史, 飯田 潤一, 増子 佳弘,
堀江 卓, 田中三津子, 玉置 透,
目黒 順一, 米川 元樹, 川村 明夫

維持透析患者手術の全身麻酔 667 件の検討
札幌北榆病院 麻酔科
札幌北榆病院 外科

中尾 康夫, 沼澤 理絵
久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

(シンポジウム) 急性及び慢性血液浄化施行施設における臨床工学技士の役割
札幌北榆病院 臨床工学技士
札幌北榆病院 外科

土濃塚広樹
久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

家族内問題を抱える透析患者を援助して
札幌北榆病院 療養情報センター
札幌北榆病院 外科

岩田 和江, 山田美砂子, 浅野 苑子,
星 奈美恵
久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

・日本統合医療学会大会(平成 13 年 6 月 24 日 = 東京)
(シンポジウム) 統合医療の実践と問題点
札幌北榆病院 内科

笠井 正晴

・第 5 回日本気胸学会総会(平成 13 年 9 月 7, 8 日 = 福岡)
自然気胸治療における 3D-CT 画像の有用性
札幌北榆病院 呼吸器科・気胸センター

本田 哲史

自然気胸治療における 3D-CT 画像の作成法
札幌北榆病院 放射線科
札幌北榆病院 呼吸器科・気胸センター

中山 大志
本田 哲史

・日本医工学治療学会第 17 回学術大会(平成 13 年 9 月 14, 15 日 = 東京)
(シンポジウム) 腎移植における新たな apheresis 技術の応用
札幌北榆病院 外科

玉置 透, 田中三津子, 米川 元樹,
川村 明夫

クライオフィльтраーション施行時の血液循環量の変動
札幌北榆病院 臨床工学技士
札幌北榆病院 外科

伊藤 憲史, 宮岸 勇樹, 那須野優美,
住田 知規, 土濃塚広樹, 阿部 博
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

・第 14 回日本内視鏡外科学会総会(平成 13 年 9 月 20, 21 日 = 札幌)
自然気胸の内視鏡手術の評価における三次元処理 CT 画像の有用性
札幌北榆病院 呼吸器科・気胸センター
札幌北榆病院 外科

本田 哲史
村井 紀元

・第 43 回日本消化器病学会大会(平成 13 年 10 月 17 ~ 19 日 = 京都)

非外科的治療で寛解を得られた胃悪性リンパ腫の 2 例

札幌北榆病院 消化器科

川村 直之, 幡 有, 中井 義仁,
三浦 洋輔, 露口 雅子, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

札幌北榆病院 内科

H.pylori 除菌における sucralfate の意義

札幌北榆病院 消化器科

露口 雅子, 幡 有, 三浦 洋輔,
中井 義仁, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄
小平 純, 中川 宗一, 河原崎 暢,
清水 勇一, 加藤 元嗣
小松 嘉人, 武田 宏司, 杉山 敏郎,
浅香 正博

北大 光学医療診療部

北大 第三内科

メネトリ工病の 2 例

札幌北榆病院 消化器科

中井 義仁, 大泉 弘子, 幡 有,
三浦 洋輔, 露口 雅子, 川村 直之,
斎藤 雅雄

胆管閉塞を来した巨大肝嚢胞の 2 例

札幌北榆病院 消化器科

三浦 洋輔, 川村 直之, 幡 有,
中井 義仁, 露口 雅子, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄

・第 62 回日本消化器内視鏡学会総会(平成 13 年 10 月 17 ~ 20 日 = 京都)

NSAIDs が原因と考えられた大腸潰瘍の 2 例

札幌北榆病院 消化器科

大泉 弘子, 幡 有, 三浦 洋輔,
中井 義仁, 露口 雅子, 川村 直之,
斎藤 雅雄

・日本臨床麻酔学会第 21 回大会(平成 13 年 10 月 18 ~ 20 日 = 横浜)

慢性腎不全患者の周術期管理 - 循環血液量の検討 -

札幌北榆病院 麻酔科

中尾 康夫, 沼澤 理絵

・第 12 回日本急性血液浄化学会学術集会(平成 13 年 10 月 19 日 = 札幌)

(シンポジウム) 慢性透析患者の周術期管理

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 米川 元樹, 川村 明夫

札幌北榆病院 麻酔科

中尾 康夫

・第 1 回 3 次元画像解析・レーザーフォーラム(平成 13 年 10 月 27 日 = 東京)

自然気胸治療における 3D-CT 画像の有用性

札幌北榆病院 呼吸器科

本田 哲史

済生会神奈川県病院 呼吸器外科

加勢田 静

・第5回アクセス研究会(平成13年10月28日=東京)

人工血管部における皮膚欠損とその対処

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 後藤 順一, 土橋誠一郎,
池田 篤, 村井 紀元, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

・第6回臨床ストレス蛋白質研究会(平成13年11月2~3日=小樽)

肝虚血再灌流傷害に対するNK- B 阻害剤 PDTC のドナー前投与によるHO-1誘導と効果

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

北里大 外科

土橋誠一郎, 玉置 透, 田中三津子,
池田 篤, 村井 紀元, 増子 佳弘,
川村 明夫
柿田 章

・第39回日本人工臓器学会大会(平成13年11月4~6日=大阪)

非穿刺型ブラッドアクセス(K-NOBA)の開発:安全性確保と透析効率(日本国特許2983540号)

札幌北榆病院 外科

川村 明夫, 米川 元樹, 久木田和丘,
目黒 順一, 玉置 透, 田中三津子,
飯田 潤一, 堀江 卓, 増子 佳弘,
村井 紀元, 土橋誠一郎, 池田 篤,
後藤 順一, 阿部 博

人工血管トラブル症例における対策とその効果

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 堀江 卓, 後藤 順一,
池田 篤, 土橋誠一郎, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

・第39回日本癌治療学会総会(平成13年11月7~9日=広島)

自家造血幹細胞移植後、二次性骨髄異形成症候群を発症した悪性リンパ腫の2症例

札幌北榆病院 内科

木山 善雄, 東梅 友美, 近藤 洋子,
小川 貴史, 今井 陽俊, 川村 直之,
小林 直樹, 小笠原正浩, 斎藤 雅雄,
比嘉 敏夫, 笠井 正晴

ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による細胞表面分子の発現増強

札幌北榆病院 内科

札幌北榆病院 消化器科

小笠原正浩, 東梅 友美, 近藤 洋子,
小川 貴史, 今井 陽俊, 小林 直樹,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴
川村 直之, 斎藤 雅雄

・第7回日本腹膜透析研究会(平成13年11月10,11日=広島)

硬化性被嚢性腹膜炎(SEP)の治療経験

札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 目黒 順一, 増子 佳弘,
後藤 順一, 池田 篤, 土橋誠一郎,
村井 紀元, 飯田 潤一, 堀江 卓,
田中三津子, 玉置 透, 米川 元樹,
川村 明夫

・第43回日本臨床血液学会総会(平成13年11月13~15日=神戸)

同種骨髄移植後の再発MDS症例に対するCAG療法施行後のchimerismの検討

札幌北榆病院 内科

比嘉 敏夫, 東梅 友美, 近藤 洋子,
小川 貴史, 今井 陽俊, 小林 直樹,
小笠原正浩, 木山 善雄, 笠井 正晴

同種造血幹細胞移植後消化管CMV感染とGVHDを合併した症例の検討

札幌北榆病院 内科

今井 陽俊, 東梅 友美, 近藤 洋子,
小川 貴史, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

自家造血幹細胞移植後二次性MDSを発症したNHLに対し、ミニ移植を施行した1例

札幌北榆病院 内科

近藤 洋子, 東梅 友美, 小川 貴史,
小笠原正浩, 今井 陽俊, 小林 直樹,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

白血病細胞浸潤による非化膿性急性虫垂炎を初発症状とした急性骨髄性白血病の一例

札幌北榆病院 内科

東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

・第28回日本低温医学会総会(平成13年11月29,30日=東京)

(シンポジウム)腎移植における新たなapheresis技術の応用

札幌北榆病院 外科

玉置 透, 田中三津子, 米川 元樹,
川村 明夫

・第37回日本移植学会総会(平成13年12月15,16日=東京)

HO活性阻害剤によるHO-1誘導と腎温虚血再灌流傷害における効果

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

玉置 透, 海津 貴史, 田中三津子,
土橋誠一郎, 池田 篤, 川村 明夫

高齢者ドナー(75才以上)からの生体腎移植と腎移植片の術前評価

札幌北榆病院 外科

田中三津子, 玉置 透, 後藤 順一,
飯田 潤一, 村井 紀元, 池田 篤,
土橋誠一郎, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

肝虚血再灌流傷害に対する転写因子 NF- κ B の活性阻害剤 PDTC の効果

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

土橋誠一郎, 玉置 透, 田中三津子,

池田 篤, 村井 紀元, 増子 佳弘,

川村 明夫

柿田 章

北里大 外科

・第 24 回日本造血細胞移植学会総会(平成 13 年 12 月 20, 21 日 = 札幌)

(ワークショップ) 単一施設におけるドナーアフエーシスに関する検討

札幌北榆病院 内科

小林 直樹, 東梅 友美, 近藤 洋子,

小川 貴史, 今井 陽俊, 小笠原正浩,

木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

(ワークショップ) 同種造血幹細胞移植後両側気胸と縦隔気腫を発症した症例の検討

札幌北榆病院 内科

東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,

今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,

木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

造血幹細胞移植患者末梢血からの NKT 細胞の誘導

札幌北榆病院 内科

小笠原正浩, 東梅 友美, 近藤 洋子,

小川 貴史, 今井 陽俊, 小林 直樹,

木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

輸血療法におけるリスクマネジメント - 当院の輸血運用マニュアルについての意識調査より -

札幌北榆病院 造血細胞移植センター

山田 裕子, 今野亜季子, 北村美奈子,

安達 るり

札幌北榆病院 看護部

栗坪 睦子

同種造血幹細胞移植患者の退院時指導の検討 - 患者からのアンケート調査より -

札幌北榆病院 造血細胞移植センター

米田さやか, 草島 千晶, 北村美奈子,

安達 るり

札幌北榆病院 看護部

栗坪 睦子

(公開シンポジウム) 末梢血幹細胞移植

札幌北榆病院 内科

小林 直樹

(公開シンポジウム) 院内コーディネーターの立場から

札幌北榆病院 療養情報センター

星 奈美恵

地方会発表

2001 年

- ・札幌市内科医会症例検討会(平成 13 年 1 月 29 日 = 札幌)
(講演)白血球増多を呈し診断に苦慮した症例
札幌北榆病院 内科 笠井 正晴

- ・第 74 回北海道外科学会(平成 13 年 2 月 3 日 = 札幌)
急性虫垂炎を契機に発見された急性骨髄性白血病の 1 例
札幌北榆病院 外科 有倉 潤, 目黒 順一, 土橋誠一郎,
村井 紀元, 海津 貴史, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 久木田和丘, 米川 元樹,
川村 明夫

- ・日本代替・相補・伝統医療連合会議第 2 回北海道支部会議(平成 13 年 2 月 3 日 = 札幌)
(シンポジウム)免疫賦活剤の健常人への作用について
札幌北榆病院 内科 小林 直樹

- ・国立病院九州がんセンター主催講演会(平成 13 年 2 月 8 日 = 福岡)
(特別講演)造血細胞移植術における医療経済を考える - 民間病院の経営感覚と先端医療の両立 -
札幌北榆病院 内科 笠井 正晴

- ・第 11 回九州・山口骨髄移植研究会(平成 13 年 2 月 9 日 = 福岡)
(特別講演)造血幹細胞移植時の TMA (thrombotic microangiopathy) の診断と病態
札幌北榆病院 内科 笠井 正晴

- ・第 218 回日本内科学会北海道地方会(平成 13 年 2 月 17 日 = 札幌)
虚血性大腸炎で発症した Thrombotic microangiopathy (TMA) の 1 例
札幌北榆病院 内科 菅 正之, 近藤 恵一, 山口 薫子,
小川 貴史, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴
太黒胃腸科病院 今井 希一

- 慢性腎不全患者に合併したポリープ形態を呈した動静脈奇形の一例
札幌北榆病院 消化器科 鎌田 豪, 加藤 寛士, 中井 義仁,
川村 直之, 大泉 弘子, 斎藤 雅雄

・第 26 回札幌市医師会医学会(平成 13 年 2 月 18 日 = 札幌)
カラー血管内超音波によるシャントトラブル血管内腔の観察
札幌北榆病院 外科

久木田和丘, 有倉 潤, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
田中三津子, 玉置 透, 目黒 順一,
米川 元樹, 川村 明夫

WT1 アンチセンス DNA による白血病治療の基礎的検討
札幌北榆病院 内科

小川 貴史, 菅 正之, 近藤 恵一,
山口 薫子, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

・第 13 回北海道癌化学療法研究会学術講演会(平成 13 年 3 月 3 日 = 札幌)
多発性骨髄腫に対する自家造血幹細胞移植併用大量化学療法の経験
札幌北榆病院 内科

近藤 恵一, 菅 正之, 山口 薫子,
小川 貴史, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 直原 徹, 比嘉 敏夫,
笠井 正晴

・医師・スタッフのための腎移植を学ぶ会(平成 13 年 3 月 10 日 = 札幌)
(講演)脳死と心臓死後の腎移植の違いはなんですか
札幌北榆病院 外科

玉置 透

・第 7 回 Pancreatic Biliary Research Forum(平成 13 年 3 月 10 日 = 札幌)
総胆管に穿破した粘液産生性膵腫瘍の 2 例
札幌北榆病院 消化器科

中井 義仁, 大泉 弘子, 鎌田 豪,
加藤 寛士, 川村 直之, 斎藤 雅雄

・平成 12 年度札幌市内科医会総会・講演会(平成 13 年 3 月 21 日 = 札幌)
(特別講演)血液疾患のみかたと最近の話題
札幌北榆病院 内科

笠井 正晴

・第 36 回日本血液学会北海道地方会(平成 13 年 4 月 28 日 = 札幌)
著明なリンパ球増多及び脾破裂をきたした悪性リンパ腫の 1 例
札幌北榆病院 内科

近藤 洋子, 東梅 友美, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

シクロスポリン投与により血液学的改善をみた骨髄異形成症候群 (MDS) の 1 例
札幌北榆病院 内科

東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

- ・第 12 回北海道造血細胞移植研究会(平成 13 年 6 月 2 日 = 札幌)
 同種末梢血幹細胞移植を施行した成人 T 細胞白血病リンパ腫症例
 札幌北榆病院 内科 東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
 今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
 木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴
 道立北野病院 内科 長井 忠則
- 同種造血幹細胞移植における無菌管理簡易化前後の比較
 札幌北榆病院 造血細胞移植センター看護部 草島 千晶, 米田さやか, 今野亜希子,
 山田 裕子, 北村美奈子, 安達 るり
 札幌北榆病院 看護部 栗坪 睦子
- ・第 88 回日本消化器病学会北海道支部例会(平成 13 年 6 月 2 日 = 札幌)
 術前確定診断に至らなかった肝内結石症による肝膿瘍の 1 例
 札幌北榆病院 外科 村井 紀元, 池田 篤, 後藤順一,
 土橋誠一郎, 飯田 潤一, 増子 佳弘,
 堀江 卓, 田中三津子, 玉置 透,
 久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
 川村 明夫
- 総胆管へ穿破した粘液産生性膵腫瘍の 2 例
 札幌北榆病院 消化器科 中井 義仁, 大泉 弘子, 鎌田 豪,
 加藤 寛士, 川村 直之, 斎藤 雅雄
- ・第 59 回北海道透析療法学会(平成 13 年 6 月 3 日 = 札幌)
 人工血管手術症例の検討
 札幌北榆病院 外科 堀江 卓, 久木田和丘, 池田 篤,
 飯田 潤一, 後藤 順一, 土橋誠一郎,
 村井 紀元, 増子 佳弘, 田中三津子,
 玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
 川村 明夫
- 当院における二次性上皮小体機能亢進症手術症例の検討
 札幌北榆病院 外科 飯田 潤一, 久木田和丘, 池田 篤,
 後藤 順一, 村井 紀元, 土橋誠一郎,
 増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
 玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
 川村 明夫
- ニードルレス血液回路の使用経験
 札幌北榆病院 人工臓器治療センター 伊藤 憲史, 那須野優美, 住田 知規,
 土濃塚広樹, 阿部 博, 久木田和丘
- ・第 82 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会(平成 13 年 6 月 3 日 = 札幌)
 直腸 MALT リンパ腫の 1 例
 札幌北榆病院 消化器科 三浦 洋輔, 川村 直之, 幡 有,
 中井 義仁, 露口 雅子, 大泉 弘子,
 斎藤 雅雄

大腸 elongated polyp の一例

札幌北榆病院 消化器科

幡 有, 中井 義仁, 三浦 洋輔,
露口 雅子, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄

・第 14 回北海道腎移植談話会(平成 13 年 6 月 9 日 = 札幌)

(パネルディスカッション)腎移植を増やすためには・移植医の役割・実績・これからの展望・

札幌北榆病院 外科

玉置 透

北大 腎泌尿器外科

渡井 至彦

当病棟における腎移植看護マニュアル作成の取り組み

札幌北榆病院 6病棟

成田 円, 岡元 由紀, 源川 裕乃,
佐藤はるか, 高橋 直美, 鈴木 雅永,
栗坪 睦子

・第 219 回日本内科学会北海道地方会(平成 13 年 6 月 9 日 = 札幌)

真菌感染症に関連して発症した血球貪食症候群 (HPS) の一例

札幌北榆病院 内科

近藤 洋子, 東梅 友美, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

術後4年後に多発性骨転移および肝転移をきたした右副腎褐色細胞腫の一例

札幌北榆病院 消化器科

幡 有, 中井 義仁, 三浦 洋輔,
露口 雅子, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄

・第 5 回北海道臓器移植フォーラム(平成 13 年 6 月 10 日 = 札幌)

高齢者ドナー(75 才以上)からの生体腎移植例

札幌北榆病院 外科

田中三津子, 玉置 透, 後藤 順一,
池田 篤, 土橋誠一郎, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

肝虚血再灌流障害に対する NF- κ B の特異的転写阻害剤 pyrrolidine dithiocarbamate (PDTc) の効果

人工臓器・移植・遺伝子治療研究所

土橋誠一郎, 玉置 透, 田中三津子,
池田 篤, 海津 貴史, 村井 紀元,
増子 佳弘, 川村 明夫
柿田 章

北里大 外科

・第 28 回北海道免疫研究会(平成 13 年 6 月 15 日 = 札幌)

樹状細胞を用いた WT1 特異的キラーT 細胞の誘導

札幌北榆病院 内科

小笠原正浩, 東梅 友美, 近藤 洋子,
小川 貴史, 今井 陽俊, 小林 直樹,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

- ・第 61 回腸疾患研究会(平成 13 年 6 月 16 日 = 札幌)
免疫不全状態に発症したサイトメガロウイルス腸炎の 3 例
札幌北榆病院 消化器科

露口 雅子, 幡 有, 中井 義仁,
三浦 洋輔, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄

- ・第 6 回富山造血幹細胞移植懇話会(平成 13 年 7 月 11 日 = 富山)
(特別講演) 民間病院における造血幹細胞移植のシステムと治療の実際
札幌北榆病院 内科

笠井 正晴

- ・第 12 回北海道腹膜透析研究会(平成 13 年 8 月 4 日 = 札幌)
イレウスを呈した腹膜透析患者の 1 例
札幌北榆病院 外科

増子 佳弘, 久木田和丘, 目黒 順一,
後藤 順一, 池田 篤, 土橋誠一郎,
村井 紀元, 飯田 潤一, 堀江 卓,
田中三津子, 玉置 透, 米川 元樹,
川村 明夫

- ・第 10 回北海道透析骨関節障害談話会(平成 13 年 9 月 1 日 = 札幌)
腎性上皮小体機能亢進症手術後の再発及び遺残におけるオキサロールの効果
札幌北榆病院 外科

堀江 卓, 久木田和丘, 土橋誠一郎,
後藤 順一, 池田 篤, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

術後カルシウム測定で遺残上皮小体を推定できるか
札幌北榆病院 外科

土橋誠一郎, 久木田和丘, 堀江 卓,
池田 篤, 後藤 順一, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

当施設における下肢切断患者の現状と看護
札幌北榆病院 人工臓器治療センター

宮腰 麻矢, 阿部 博, 土橋誠一郎,
堀江 卓, 久木田和丘, 米川 元樹,
川村 明夫

- ・第 75 回北海道外科学会(平成 13 年 9 月 1 日 = 札幌)
術前診断し得た閉鎖孔ヘルニアの一例
札幌北榆病院 外科

後藤 順一, 目黒 順一, 池田 篤,
土橋誠一郎, 村井 紀元, 飯田 潤一,
増子 佳弘, 堀江 卓, 田中三津子,
玉置 透, 久木田和丘, 米川 元樹,
川村 明夫

- ・第 49 回北海道麻酔学会(平成 13 年 9 月 1 日 = 札幌)
慢性血液透析患者における緊急開腹術の麻酔管理
札幌北榆病院 麻酔科
沼澤 理絵, 中尾 康夫

- ・第 220 回日本内科学会北海道地方会(平成 13 年 9 月 8 日 = 札幌)
中枢神経浸潤を呈した多発性骨髄腫の 1 例
札幌北榆病院 内科
東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

- ・第 7 回釧路血液病学セミナー(平成 13 年 9 月 14 日 = 釧路)
(推薦演題) インターフェロン療法にて、Ph1 染色体の消失をみた慢性骨髄性白血病の 2 例
札幌北榆病院 内科
比嘉 敏夫

- ・第 89 回日本消化器病学会北海道支部例会(平成 13 年 9 月 22 日 = 札幌)
小腸悪性リンパ腫の 1 例
札幌北榆病院 消化器科
中井 義仁, 大泉 弘子, 幡 有,
三浦 洋輔, 露口 雅子, 川村 直之,
斎藤 雅雄

- ・第 83 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会(平成 13 年 9 月 23 日 = 札幌)
難治性直腸型潰瘍性大腸炎に対して白血球除去療法が奏効した 1 例
札幌北榆病院 消化器科
三浦 洋輔, 幡 有, 中井 義仁,
露口 雅子, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄

- 内視鏡的に観察し得た小腸癌の一例
札幌北榆病院 消化器科
幡 有, 中井 義仁, 三浦 洋輔,
露口 雅子, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄
藤井内科医院
藤井 謙

- ・第 40 回日本エム・イー学会北海道支部大会(平成 13 年 10 月 6 日 = 札幌)
医療機器マニュアルの作成について
札幌北榆病院 臨床工学技士
鶴谷 敬之, 富岡 祐介, 清信 一貴,
小塚 麻紀, 土濃塚広樹
札幌北榆病院 麻酔科
中尾 康夫
札幌北榆病院 外科
米川 元樹, 川村 明夫

- ・第 43 回日本臨床血液学会北海道地方会(平成 13 年 10 月 13 日 = 札幌)
CML 症例におけるミントランスプラントの検討
札幌北榆病院 内科
北大 血液内科
近藤 洋子, 東梅 友美, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴
杉田 純一, 加藤菜穂子, 堤 豊,
田中 淳司, 今村 雅寛

Engraftment syndrome 様の呼吸不全を呈した同種造血幹細胞移植症例の検討

札幌北榆病院 内科

東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴

腎不全患者さんご家族のためのわかりやすい腎移植を学ぶ会(平成 13 年 10 月 14 日 = 札幌)

(講演) どのような人に勧められますか

札幌北榆病院 外科

田中三津子

(講演) 費用や入院日数、社会復帰について

札幌北榆病院 療養情報センター

星 奈美恵

第 21 回日本アフェレシス学会北海道地方会(平成 13 年 10 月 27 日 = 札幌)

急性肝不全患者の含窒素代謝産物の変動

札幌北榆病院 外科

堀江 卓, 米川 元樹, 後藤 順一,
池田 篤, 土橋誠一郎, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 玉置 透,
久木田和丘, 目黒 順一, 川村 明夫

末梢血幹細胞採取時の有害事象の検討

札幌北榆病院 内科

札幌北榆病院 外科

札幌北榆病院 人工臓器治療センター

近藤 洋子, 東梅 友美, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴
米川 元樹, 川村 明夫
土濃塚広樹, 阿部 博

第 45 回日本輸血学会北海道支部例会(平成 13 年 10 月 27 日 = 札幌)

輸血ミスを防ぐための照合方法の改善

札幌北榆病院 内科

札幌北榆病院 輸血部

東梅 友美, 近藤 洋子, 小川 貴史,
今井 陽俊, 小林 直樹, 小笠原正浩,
木山 善雄, 比嘉 敏夫, 笠井 正晴
豊澤 悠子, 三浦 玲子

実際の輸血量から求めた手術準備血基準

札幌北榆病院 輸血部

札幌北榆病院 麻酔科

札幌北榆病院 内科

三浦 玲子, 豊澤 悠子, 禿 蘭子,
小矢奈々美, 佐藤 壮, 横田 亘弘
中尾 康夫
木山 善雄, 笠井 正晴

第 7 回日本アフェレシス学会九州地方会(平成 13 年 10 月 27 日 = 鹿児島)

(特別講演) アフェレシス治療の適応と効果

札幌北榆病院 外科

川村 明夫

無菌室看護研究会 学術講演会(平成 13 年 11 月 2 日 = 出雲)

(特別講演) 造血幹細胞移植と医療経済について

札幌北榆病院 内科

笠井 正晴

(特別講演) 造血器腫瘍におけるクリティカルパスについて

札幌北榆病院 造血細胞移植センター

安達 るり

・第 221 回日本内科学会北海道地方会(平成 13 年 11 月 10 日 = 札幌)

胃 GIST の部分切除 4 年半後に肝転移と食道 GIST を併発した一例

札幌北榆病院 消化器科

太田 健介, 三浦 洋輔, 中井 義仁,
露口 雅子, 川村 直之, 大泉 弘子,
斎藤 雅雄
比嘉 敏夫, 笠井 正晴

札幌北榆病院 内科

・第 3 回じん肺患者学習交流集会(平成 13 年 11 月 10 日 = 札幌)

(講演) 介護保険について

札幌北榆病院 医療ソーシャルワーカー

岩田 和江

・第 15 回北海道腎移植談話会(平成 13 年 11 月 17 日 = 札幌)

透析患者の腎移植に関する意識調査 - 246 人のアンケート調査から -

札幌北榆病院 外科

田中三津子, 玉置 透, 後藤 順一,
池田 篤, 土橋誠一郎, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

CMV 抗体陽性ドナーから陰性レシピエントへの生体腎移植の検討

札幌北榆病院 外科

土橋誠一郎, 玉置 透, 田中三津子,
後藤 順一, 池田 篤, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 堀江 卓,
久木田和丘, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

腎移植の経済的効果 - 透析医療との比較において -

札幌北榆病院 療養情報センター

星 奈美恵

服薬自己管理に向けてのコミュニケーションの実際

札幌北榆病院 第 6 病棟

佐藤はるか, 岡元 由紀, 源川 裕乃,
成田 円, 高橋 直美, 鈴木 雅永,
栗坪 睦子

・第 62 回腸疾患研究会(平成 13 年 11 月 17 日 = 札幌)

内視鏡的逆行性小腸造影が診断に有用であった小腸型クローン病の 1 例

札幌北榆病院 消化器科

三浦 洋輔, 太田 健介, 中井 義仁,
露口 雅子, 大泉 弘子, 川村 直之,
斎藤 雅雄

・第 60 回北海道透析療法学会(平成 13 年 11 月 18 日 = 札幌)

(シンポジウム) 導入期の血液浄化法の選択とアクセスの問題点

札幌北榆病院 外科

堀江 卓, 久木田和丘, 後藤 順一,
池田 篤, 土橋誠一郎, 村井 紀元,
飯田 潤一, 増子 佳弘, 田中三津子,
玉置 透, 目黒 順一, 米川 元樹,
川村 明夫

透析導入期クリニカルパスの作成

札幌北榆病院 人工臓器治療センター

若林マリア, 赤堀 友香, 長尾 麻子,
伊藤 薫, 寺島 恵子, 阿部 博,
栗坪 睦子, 久木田和丘, 米川 元樹,
川村 明夫

・アフエーシス技術講習会(平成 13 年 11 月 25 日 = 札幌)

(教育講演) アフエーシスの臨床

札幌北榆病院 外科

堀江 卓

講演会・研究会報告

- ・日本代替・相補・伝統医療連合会議第4回北海道支部会(平成14年7月6日)

講演1「『音楽』と『療法』の間にあるもの」

札幌山の上病院

上杉 春雄

講演2「日常診療における気功療法(西野流呼吸法)の応用 - その理論と実技」

熊谷病院

熊谷 福夫

- ・障害年金と保険に関する勉強会(平成14年11月2日)

「障害年金と保険に関する講演会と質疑応答」

札幌北楡病院 ソーシャルワーカー

山田 美砂子

- ・第10回北楡セミナー(平成14年11月15日)

特別講演「Exploiting the therapeutic potential of scatter factors by protein engineering」

Institute of Cancer Research and Treatment, University of

Torino Medical School

Paolo Michieli

各部門報告

外科

2002年の春は駆け足でやってきた。気がついたら平地の雪がいつの間にか消えていた。社会の変化の早さに合わせて、季節の変化まで早まったのであろうか。ともかく、学会を主催する2002年が明けて、早くも4ヵ月が過ぎようとしている。

さて、2001年の1年間のまとめと、2002年以降の予定を記して、更なる飛躍を図りたい。

2001年の総手術件数は959件で、全身麻酔503件、腰椎麻酔22件、局所麻酔431件であった。内訳は、食道切除術2例、胃切除術41例、結腸・直腸切除術72例、膵頭十二指腸切除術3例、肝切除術6例、胆嚢摘出術97例(腹腔鏡下胆嚢摘出術56例)、開胸肺切除術10例、生体腎移植術3例などであり、他に、二次性副甲状腺機能亢進症患者に対する副甲状腺全摘・一部自家移植術10例等である。更に、当科の特徴として、血液透析患者に対するブラッドアクセス手術は、実に284例にのぼる。この様に、広い分野の手術が連日行われているために、若手研修医には刺激的な環境と言える。我と思わん方々の来院を期待したい。

勉強の方も頑張っており、学会発表では、国際学会が4件、全国学会が26件、地方会が19件であった。一方、発表論文は、邦文が17編、英文が2編であった。

学問以外では、年間を通じて色々な行事があり、しっかりと遊ぶ事も忘れてはいない。しかし、2002年は学会を主催する年でもあり、若干減るかもしれない。

最後に、画期的な予定の一つ。2002年4月10日より病院の増改工事が始まったが、その内容は日本初の、全室個室でかつ差額なしという、前代未聞の試みである。医療システムの変化や、患者の要求に合わせて、我々も変わって行かねばならない。完成後には、このシステムの素晴らしさを、札幌の地から全国へ向けて発信できるように頑張りたいと思う。

血液内科

血液内科の医師数は7名が常勤しています。診療体制は複数グループからなり、グループ診療を行っています。病床数は80~90で、白血病、骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、骨髄腫、リンパ腫などの造血器疾患に対して化学療法を行っています。また、重症の方も多いです。また、非血縁者間骨髄移植の認定施設となっており、造血幹細胞移植数は年間約45例であり、全国でも有数の施設です。造血細胞移植センターには、無菌室がClass 100 4室、Class 1,000 7室、Class 10,000 10室の計21室を装備し、移植のみならず、好中球減少状態にある患者の感染リスクを減らし、より安全な治療および移植を行っています。JALSG (Japan Adult Leukemia Study Group)、LSG (Lymphoma Study Group)、非血縁者間骨髄移植の各グループに参加しており、血液疾患治療を積極的に行っています。一方、胚細胞腫瘍などの固形癌に対しても自家移植併用大量化学療法を行っており、従来の化学療法に優る治療成績を上げています。また、ミニ移植も適応を決めて行うようになっています。血液の病理組織診断や組織培養、遺伝子解析を行っており、併設している人工臓器・移植・遺伝子治療研究所ではP2レベルの実験室で遺伝子導入実験を行っています。幹細胞マーカーや移植時の移植片対宿主病の研究も

行い、臨床研究を併せ行っています。日本血液学会、日本輸血学会の認定施設となっており、血液後期レジデント制(卒後 3~5 年)を採用し、全国公募しています。研修医の年間の学会発表は 5~6 回くらいはあります。

(副院長 内科 笠井正晴)

消化器科

当科では主に消化器系疾患を対象に検査・治療を行っている。平成 13 年の実績では、上部消化管内視鏡検査 3032 例、下部消化管内視鏡検査 1750 例を実施している。また、胃・大腸ポリペクトミー・内視鏡的粘膜切除術(EMR)296 例、ERCP 92 例、食道静脈瘤治療(EIS、EVL)38 例、内視鏡的胆道系治療 44 例ら積極的に内視鏡下治療を行っている。また、超音波内視鏡検査 84 例、腹部超音波検査 2138 例を行い、最近では H.C.C に対する RAF 治療も積極的に行っている。Angiography も積極的に行い、H.C.C に対する治療も多数施行している。

上記の如く、殆どの内視鏡検査・治療が可能となっているが、当科では、内視鏡機器および治療に用いる周辺機器の充実を図るとともに、スタッフの充実および医療 level の維持に努めている。現在 6 名の勤務医がおり、各々消化器病学会、消化器内視鏡学会の認定医・専門医・指導医となっている。また、内視鏡専属の看護婦が 6 名、内視鏡学会認定技師が 3 名おり、緊急時にも速やかに対応し、診断・治療を行っている。

学会活動では、当院は日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本大腸肛門病学会の認定指導施設であり、研修医の育成や、各学会総会での発表を積極的に行っている。平成 13 年度には全国学会 10 題、地方会・研究会 11 題の発表をした。現在、胃癌の非手術例に対する化学療法、H.C.C に対する内科学的治療を積極的に行っている。また、難治性潰瘍性大腸炎に対する当院で開発した白血球除去療法を行っており、寛解導入および再発の防止に対し効果を上げているところである。

(消化器科部長 斎藤雅雄)

呼吸器科

平成 11 年に開設された呼吸器科は医師 1 名で午前の外来診療を主としております。

呼吸器科の検査としては一般的なレントゲン検査の他に、肺 CT 検査は他院で類を見ない三次元画像診断ができ、放射線技師は全国学会で高い評価を受けています。放射性同位元素を用いた肺血流シンチグラムのみならず診断機器の増設で血管造影も可能になりました。呼吸機能検査は一般病院の水準を超えた機器を導入し名実ともに呼吸器専門病院となりました。気管支内視鏡検査はもとより、胸腔鏡は胸水疾患の診断ばかりではなく、自然気胸の内視鏡治療では北海道のセンターとして認められています。

気管支喘息の治療にはピークフローメーターを用いたステロイドの吸入療法を取り入れています。また肺結核の後遺症や慢性肺気腫その他の慢性呼吸不全の患者さんに対してのみならず透析患者さんにも在宅酸素療法を始め、在宅医療も充実しました。死亡率 1 位の肺癌に対しては胸腔鏡手術から開

胸手術、化学療法、放射線療法など集学的治療が可能です。

学会活動としては日本気胸学会理事、日本内視鏡外科学会評議員、日本内科学会認定医、日本呼吸器学会指導医、日本気管支学会・気管支鏡指導医、北海道内視鏡外科研究会世話人をしております。日本気胸学会は日本気胸・嚢胞性肺疾患学会と学会名を変更し研究対象を拡大しており平成 15 年の第 7 回総会を札幌で主催することになりました、また「自然気胸治療ガイドライン」編集委員会の委員長として試案をまとめております。全国学会発表は 6 回です。

札幌東呼吸器談話会には毎月参加しており、病・医院間の連携も良くなってきました。

外来診療では職業病であるじん肺に力を注いできた甲斐があり「じん肺患者交友会」が組織され当院で患者・家族の交流会が開催され、他院に通院している患者さん達も多数参加されました。

入院診療においては血液内科・消化器科の先生のみならず、手術時には外科・麻酔科の先生方のご支援いただきこの紙面を借りてお礼申し上げます。

(呼吸器科部長 本田 哲史)

整形外科

平成 13 年度も整形外科一般の疾患に加え、股関節およびその周辺の疾患に対しての治療も積極的に行っています。変形性股関節症に対しては、その病期に応じて臼蓋骨切り術 5 例(初期関節症)、骨盤骨切り術 4 例(初期および進行期にかかるもの)、人工関節置換術 5 例(末期)を行いました。

特に股関節初期から進行期にかけての症例では、できるだけ骨頭温存を目指して積極的に、しかも術後の関節症の急激な進行を避けられる安全な手術としての骨盤骨切り術(一般的に Chiari 手術と呼ばれている)を行っています。現在最も多く行われている臼蓋回転骨切り術では良い結果の得られない骨頭変形、臼蓋との適合不良、そして関節症進行期に入ったもの等を対象に、歴史のある手術方法に改良を加え、大転子を切離回転して、レスプロケーティングソーを用いて前方部を骨頭の形状に合わせてドーム型に骨切りを行っています。

平成 13 年度は、人工関節のゆるみを生じた例の再置換術を 6 例行っており、今後もさらに多くの人工関節置換および再置換が必要とされる現状を考えると、骨頭温存の努力は今後も継続していこうと思っております。

(整形外科部長 東 輝彦)

麻酔科

麻酔科では、平成 11 年から常勤麻酔科医 2 名体制となっているが、過去 5 年間の全手術件数およびその内での麻酔科管理件数の年々の変化をしめすと

	全手術件数	麻酔科管理
平成 9 年(1997 年)	1089 件	589 件
平成 10 年(1998 年)	1147 件	641 件
平成 11 年(1999 年)	1135 件	645 件
平成 12 年(2000 年)	1210 件	698 件

平成 13 年(2001 年)

1208 件

658 件

全手術件数・麻酔科管理件数とも若干の増加傾向を示しているが、そのうちで特に維持透析患者の麻酔科管理手術の手術件数は平成9年から75、90、109、125、122件と年々大きく増加している。

麻酔科では、維持透析患者の周術期管理に関する学会発表を続けており、平成13年度は日本麻酔科学会・日本透析医学会で当院での維持透析患者麻酔科管理症例の集計を発表し、腎不全外科研究会では維持透析患者の周術期輸血、日本臨床麻酔学会では維持透析患者の術前体内水分量を検討し報告した。今後も、維持透析患者の周術期管理に関する学会発表を続けてゆく予定である。

人工臓器治療センター(AOC)

季節が今年は駆け足で通り過ぎようとしています。病院の全体の形は変わらずとも中身は見えたり、見えなかったりして変化しています。

さて人工臓器治療センターでは現在、東棟で入院透析コンソール14台、西棟で外来透析72台、ICUで4台、計90台が稼働しています。新規購入機器は透析中に連続的にヘマトクリットを測定できるクリットラインモニター、またオンラインHDのできるフレゼニウスのコンソールが3台でした。他に西で遠心型血液分離装置、CS3000とCS3000PLUS、主にICUでクライオフィルトレーション用CS203、血漿交換交換用PLUS AUTO1000は引き続き使われています。

平成13年度に施行したアフエシスはクライオフィルトレーション8名27回、エンドキシン吸着2名3回、血漿交換4名22回、ダブルフィルトレーション血漿交換1名8回でした。血液成分採取は末梢血幹細胞46名87回、リンパ球5名81回です。サイタフェレーシスはL-CAP35名661回でした。平成14年3月現在の総透析患者数は290名で、前年より15名の増加です。

昨年度も病院をあげて学会で積極的に発表を重ねました。全国学会としては、今年6月川村理事長が主催されるアフエシス学会、同じく10月の日本人工臓器学会、来年米川院長の主催される日本医工学治療学会を初めとして日本透析医学会、急性血液浄化学会、その他各種全国規模の研究会にも発表しております。また今回人工臓器学会に引き続きアクセス研究会を久木田がお世話することとなりました。地方会でも同様に参加、発表を行いました。北海道規模のアフエシス学会、透析療法学会、血液浄化学会、腹膜透析研究会、透析骨関節障害談話会などがあげられます。当院で人工臓器による治療を受けられる患者さんが増加してきております。少しでもより良い治療を受けられるよう、われわれスタッフもさらに努力を重ねましょう。

(人工臓器治療センター長 久木田和丘)

小児科

小児科は、2001年4月で満1才になりました。医師1名体制で診療しています。2000年末から札幌市で麻疹の流行があり、当科でも多数の症例に対応しましたが、幸い重症化する症例はありませんでした。麻疹の予防接種について、外来受診の際などに保護者の方々に啓蒙する一方、院内でも、“小児期に多いウイルス性疾患”というテーマで研修の機会を設けていただき、スタッフ間でも意識を高めました。

当科の外来診療は、急性疾患の一時的医療、予防接種・健診などの健康管理が約9割、その他気管

支喘息、アトピーやネフローゼなど長期管理の患者さんです。予防接種については、インフルエンザ以外は予約制をとらず、月～金と土曜午前も実施しており、できる限りこの体制を維持しようと考えています。健診も同様です。循環器、神経、内分泌など専門分野の症例は北大小児科の各診療班に大変お世話になっています。入院診療は、肺炎・気管支炎、胃腸炎、気管支喘息など急性疾患への対応が主であり、2001年は、ご紹介いただいた患者さんは約四割でした。

診察の際には、お母さんはじめ保護者の方の話もたくさん聞いて、子供と一緒に元気になってもらえるように心がけています。「ちょっとお聞きしたいのですが・・・」に具体的にお答えすることは、患者さん側にも当方にも、とても役立っていると思います。

患者さんを前に、自問自答の毎日ですが、各科の先生にご助言いただくことも多く大変感謝しております。各部署の協力を得て、より多くの症例を重ねてゆきたいと思っております。

(小児科 安田一恵)

歯科

平成12年11月にそれまで週3回午後だけの体制から、月曜日から土曜日までの毎日の診療となり、1年半が経ちました。当初3～4ヶ月は入院患者が9割近く占めていましたが、最近では入院患者、外来患者が半々ぐらいになり、北榆病院の歯科の存在が認知されつつあると思っております。

北榆病院の歯科ということで、血液疾患や透析患者等、有病者の割合が高く、1歯の治療も制限されることもありますが、全身管理を行いつつ、1口腔単位での治療を心がけています。平成13年度には高出力半導体レーザーを病院に購入していただき、それまで浸潤麻酔が必要だった歯肉切除、歯周病から根尖病巣の蒸散、知覚過敏処置、メラニン色素の除去などが表面麻酔、または麻酔なしで無痛治療が行えるようになりました。

病院歯科の特色を生かし、これからもスタッフ共々診療に取り組んでいきたいと思っております。

(歯科 今井 信)

人工臓器、移植、遺伝子治療研究所

平成8年に臨床西棟の1階に研究所が設置されて今年で6年目を迎えました。この間、多くの基礎研究ならびに臨床研究が実践され、各医学会での研究発表ならびに学会誌への論文投稿が行なわれてきました。平成13年度は、全国学会6題、地方会1題の発表と邦文誌に2編投稿しました。

外科系実験室の研究課題は「人工臓器と移植」です。今年度は川村理事長が研究グループ長の「血液透析用非穿刺型ブラッドアクセスおよび非穿刺型ブラッドアクセス接続カニューレアセンブリ」の開発研究が行われています。これは科学技術振興事業団の研究プロジェクトとして、当研究所、札幌市北区北19条西11丁目に設置された研究成果活用プラザ北海道および(株)シンセミックが共同で研究開発しています。このデバイスは、血液透析時に血管を直接穿刺することなく透析器からのチューブが接続できるものです。患者さんが自分自身で在宅透析が可能になるように実用化に向けて試験研究を行っています。

また、ヒト補体抑制蛋白 (Decay-accelerating factor) 遺伝子導入ブタを用いてヒト血液成分による異種肝灌流を行い異種免疫反応の制御に関する研究、ラット虚血肢モデルを作成してヒト hepatocyte

growth factor 遺伝子導入効果の検討や誘導性ストレス物質の臓器虚血再灌流傷害に対する保護効果の基礎研究も行われています。これらの基礎研究を通して、医学博士学位論文「ラット小腸温虚血再灌流傷害に対する L-glutamine の効果:Heme oxygenase-1 の誘導と抗 apoptosis 作用」が北海道医誌に掲載されました。他に、Kidney International、Surgery および Transplantation International などに投稿中です。

一方、内科系遺伝子研究室の研究課題は「癌と遺伝子治療」です。化学療法剤の感受性を知る目的としてリンパ球系腫瘍におけるマイクロサテライト不安定性の検討、免疫原性の強いペプチドと強力な抗原提示能を有する樹状細胞を用いた慢性骨髄性白血病に対する免疫細胞療法や造血器悪性腫瘍に高発現される WT1 遺伝子に対するアンチセンス遺伝子を用いた遺伝子治療など臨床応用を目前にした研究が行われています。これらの成果は、日本癌治療学会などで報告されました。

平成 14 年度は、これまでの先端的な基礎研究のステップを越えた臨床応用の時期に入っています。当研究所では、さらに専任研究助手 1 名が増員されました。昨年度以上の研究空間が創出され、多くの研究課題が実用化されることを期待しています。

(人工臓器.移植.遺伝子治療研究所副所長 玉置 透)

論文

邦文

2001年

虚血再灌流傷害とガス状メディエーター . 玉置透 (人工臓器・移植・遺伝子治療研究所) . 低温医学 27(1): 1-5, 2001

腎移植に対する新しいアフエーシス治療 . 田中三津子, 玉置透, 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 低温医学 27(2): 47-51, 2001

生体腎移植後に発症したサイトメガロウイルス (CMV) 性胃十二指腸炎 . 田中三津子, 玉置透, 内田泰至, 増子佳弘, 有倉潤, 飯田潤一, 海津貴史, 村井紀元, 堀江卓, 久木田和丘, 目黒順一, 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 移植 36(3): 184-189, 2001

幹細胞移植・造血細胞の供給源を異にする幹細胞移植とそれぞれの特徴と選択 (3) 同種末梢血幹細胞移植 . 笠井正晴 (札幌北榆病院・内科) . 日本輸血学会雑誌 47(3): 504-506, 2001

効率よく血液浄化を行うための院内組織確立の工夫 . 川村明夫 (札幌北榆病院・人工臓器治療センター) . 医工学治療 13(3): 117-122, 2001

透析看護におけるリスクマネジメント . 阿部博 (札幌北榆病院・人工臓器治療センター) . 医工学治療 13(3): 147-150, 2001

¹³C-尿素呼気試験における最新型赤外分光分析装置 (UBiT-IR300) の検討 . 加藤元嗣 (北大・光学医療診療部), 浅香正博 (北大・第三内科), 斎藤雅雄 (札幌北榆病院・消化器科) . 日本消化器病学会雑誌 98(7): 853, 2001

透析導入直前にみられた大腸広範粘膜血管拡張の1例 . 有倉潤, 久木田和丘, 村井紀元, 海津貴史, 飯田潤一, 内田泰至, 増子佳弘, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 目黒順一, 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 比嘉敏夫 (札幌北榆病院・内科) . 三代川斉之 (旭川医科大学附属病院病理部) . 日本透析医学会雑誌 34(12): 1497-1500, 2001

連続携行式腹膜透析における硬化性被嚢性腹膜炎症例の検討 . 増子佳弘, 久木田和丘, 目黒順一, 後藤順一, 池田篤, 土橋誠一郎, 村井紀元, 飯田潤一, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 北海道外科雑誌 46(2): 44-49, 2001

小児糸球体疾患における尿中 Terminal Complement Complex (TCC)測定の意義 . 安田一恵 (北海道大学小児発達医学) . 北海道医学雑誌 76(2): 71-84, 2001

ブラッドアクセストラブルに対する血管内治療:術後評価 . 久木田和丘, 増子佳弘, 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . Clinical Engineering 12(2): 136-140, 2001

細胞吸着 (サイタフェレシス) が適応となる病態 . 米川元樹, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科), 斎藤雅雄 (札幌北榆病院・消化器科) . Clinical Engineering 12(4): 309-314, 2001

急性肝不全患者における含窒素代謝産物の変化 . 米川元樹, 堀江卓, 目黒順一, 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . Clinical Engineering 12(11): 926-928, 2001

除菌終了後の効果判定の時期は4週以降とされているが、実際はどの時期におこなえばよいのか？ 斎藤雅雄(札幌北榆病院・消化器科) . Helicobacter Research 5(3): 213-215, 2001

Giant Bulla の治療における三次元 CT 画像の臨床的検討 . 本田哲史(札幌北榆病院・呼吸器科・気胸センター) . 気胸 3: 15-18, 2001

TMA のガイドライン . 笠井正晴(札幌北榆病院・内科) . 分子細胞治療 2(2): 196-199, 2001

急性肝不全に対する各種血液浄化法の適応と限界 . 目黒順一, 有倉潤, 村井紀元, 土橋誠一郎, 海津貴史, 飯田潤一, 増子佳弘, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 久木田和丘, 米川元樹, 川村明夫(札幌北榆病院・外科) . ICU と CCU 25(別冊): S5-S6, 2001

無菌室における急性血液浄化 . 米川元樹, 久木田和丘, 有倉潤, 村井紀元, 土橋誠一郎, 海津貴史, 飯田潤一, 増子佳弘, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 目黒順一, 川村明夫(札幌北榆病院・外科), 比嘉敏夫(札幌北榆病院・内科) . ICU と CCU 25(別冊): S146--S147, 2001

タバチエール内シャントは内シャント寿命を延長するか . 久木田和丘, 増子佳弘, 有倉潤, 村井紀元, 土橋誠一郎, 海津貴史, 飯田潤一, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 目黒順一, 米川元樹, 川村明夫(札幌北榆病院・外科) . 腎と透析 50(別冊), アクセス 2001, p.87-89, 2001

血液透析患者に合併した原発性肝癌の検討 . 増子佳弘, 久木田和丘, 目黒順一, 有倉潤, 海津貴史, 村井紀元, 内田泰至, 飯田潤一, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 米川元樹, 川村明夫(札幌北榆病院・外科) . 腎と透析 50(別冊), 腎不全外科 2001, p.72-74, 2001

維持透析患者の術前透析 . 中尾康夫, 沼澤理絵, 森本佳子(札幌北榆病院・麻酔科), 久木田和丘, 米川元樹, 川村明夫(札幌北榆病院・外科) . 腎と透析 50(別冊), 腎不全外科 2001, p.126-127, 2001

NRC (Neo Red Cell: 血液代替物) による高度血液交換モデルの免疫能 . 柳田尚之, 川村明夫, 田中三津子, 玉置透, 米川元樹(人工臓器・移植・遺伝子治療研究所) . 人工血液 9(2): 42-45, 2001

急性骨髄性白血病の化学療法 . 笠井正晴(札幌北榆病院・内科) . 実践・がん化学療法 . 小川一誠 監修, 犬山征夫, 三國主税, 井上勝一 編, 篠原出版, 東京, 2001, p.569-580

急性リンパ性白血病の化学療法 . 比嘉敏夫(札幌北榆病院・内科) . 実践・がん化学療法 . 小川一誠 監修, 犬山征夫, 三國主税, 井上勝一 編, 篠原出版, 東京, 2001, p.581-595

血液疾患の最近の動向 . 笠井正晴(札幌北榆病院・内科) . 札幌医通信 No.409, p.13-14, 2001

WT1 アンチセンス DNA による白血病治療の基礎的検討 . 小川貴史, 菅正之, 近藤恵一, 山口薫子, 小林直樹, 小笠原正浩, 木山善雄, 直原徹, 比嘉敏夫, 笠井正晴(札幌北榆病院・内科) . 札幌医通信 増刊 No.204, 第 26 回札幌市医師会医学会誌, p.157-158, 2001

カラー血管内超音波によるシャントトラブル血管内腔の観察 . 久木田和丘, 有倉潤, 村井紀元, 飯田潤一, 増子佳弘, 堀江卓, 田中三津子, 玉置透, 目黒順一, 米川元樹, 川村明夫(札幌北榆病院・外科) . 札幌医通信 増刊 No.204, 第 26 回札幌市医師会医学会誌, p.197-198, 2001

非穿刺型ブラッドアクセスと接続カニューレの開発 . 川村明夫, 米川元樹, 久木田和丘, 目黒順一, 玉置透, 田中三津子, 堀江卓, 増子佳弘, 内田泰至, 飯田潤一, 村井紀元, 海津貴史, 有倉潤, 阿部博(札幌北榆病院・人工臓器センター) . 第 5 回ブラッドアクセスインターベンション治療研究会 Proceeding 集, 2001, p.28-29

バルーン経皮的血管形成術後長期開存因子の検討 . 久木田和丘 , 有倉潤 , 村井紀元 , 海津貴史 , 内田泰至 , 飯田潤一 , 増子佳弘 , 堀江卓 , 田中三津子 , 玉置透 , 目黒順一 , 米川元樹 , 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 第 5 回ブラッドアクセスインターベンション治療研究会 Proceeding 集, 2001, p.70-71

統合医療の実践と問題点 . 笠井正晴 (札幌北榆病院・内科) . 日本統合医療学会誌 1(1): 72-76, 2001

アフレスシス治療概説 . 川村明夫 (札幌北榆病院・外科) . 藻岩山麓ジャーナル Vol.1, p.10-13, 2001

造血幹細胞移植 . 笠井正晴 (札幌北榆病院・内科) . つばさ 33: 32-37, 2001

PPI抵抗性胃潰瘍に対するラベプラゾールナトリウム (パリエット®) の早期奏功症例 . 斎藤雅雄 (札幌北榆病院・消化器科) . 日経メディカル抜冊 2001 年 6 月 16 日号, p.3

日本医工学治療学会第 15 回学術大会印象記 . 米川元樹 (札幌北榆病院) . 日本アフレスシス学会雑誌 20(1): 101-102, 2001

英文

2001年

Problems of double-lumen catheter used for blood purification and their improvement. Kukita K, Uchida Y, Tamaki T, Meguro J, Yonekawa M, Kawamura A (Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital). *Journal of Artificial Organs* 4: 42-45, 2001

No-needle blood access device for hemodialysis and no-needle connecting cannula assembly (K-NOBA PAT./JAP2983540). Kawamura A, Yonekawa M, Kukita K, Meguro J, Tamaki T, Tanaka M, Horie T, Masuko Y, Iida J, Uchida Y, Murai N, Kaizu T, Arikura J, Abe H (Center of Artificial Organs, Sapporo Hokuyu Hospital). *Journal of Artificial Organs* 4: 161-164, 2001

Experimental study using heparin-immobilized adsorbent of EDA(+)fibronectin. Yonekawa M, Tanaka M, Kawamura A, Kukita K, Tamaki T, Meguro J (Research Institute for Artificial Organs, Transplantation and Gene Therapy), Sakashita E, Sawamoto M (Otsuka Pharmaceutical Factory). *Therapeutic Apheresis* 5(6): 476-479, 2001

Adenocarcinoma arising in gastric heterotopic pancreas: Clinicopathological and immunohistochemical study with genetic analysis of a case. Osanai M, Sawada N (Dept. of Pathology, Sapporo Medical University), Miyokawa N (Div. of Surgical Pathology, Asahikawa Medical College), Tamaki T, Yonekawa M, Kawamura A (Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital). *Pathology International* 51: 549-554, 2001

Development of a novel polycationic adsorbent for cryogel removal. Miyamoto K, Uchiyama R, Tokita M, Komai T (Faculty of Engineering, Dept. of Chemistry for Materials, Mie Univ.), Yonekawa M, Kawamura A (Dept. of Surgery, Sapporo Hokuyu Hospital), Miyashita K, Sakashita E (Nutrition Research Institute, Otsuka Pharmaceutical Factory Inc.). *International Journal of Biological Macromolecules* 29: 19-24, 2001

Re-treatment of relapsed indolent B-cell lymphoma with rituximab. Igarashi T, Ohtsu T, Fujii H, Sasaki Y (Hematology and Oncology, National Cancer Center Hospital East), Morishima Y, Ogura M, Kagami Y (Dept. of Hematology and Chemotherapy, Aichi Cancer Center), Kinoshita T (Dept. of Int. Med., Nagoya Univ.), Kasai M, Kiyama Y (Dept. of Int. Med., Sapporo Hokuyu Hospital), Kobayashi Y, Tobinai K (Hematology Div., National Cancer Center Hospital). *International Journal of Hematology* 73: 213-221, 2001

Self-reported recovery time of daily activity after bone marrow harvesting from healthy donors. Nishimori M, Yamada Y (Surgical Center, Univ. of Tokyo), Tateoka A, Hanaoka K (Dept. of Anesthesiology, Univ. of Tokyo), Tojyo A (Dept. of Hematology/Oncology, Univ. of Tokyo), Nakao Y (Sapporo Hokuyu Hospital). *Journal of Anesthesia* 15: 1-5, 2001

編集後記

21世紀の医学は遺伝子医療と再生医療がテーマとなっている。胚細胞ではない分化した体細胞より個体を発生させるという従来の常識を覆す事実。急激な遺伝子技術や操作の進歩、変化に内容が伴わない場合は人為的な遺伝子の変異や自然界の生物とは異なる欠陥創造物の発生などが問題となるでしょう。医療の分野でも医療構造改革と称して厚生労働省による医療費削減という命題のみによる未曾有の改悪が行なわれた。政治の誤りによる負の財政を医療費の削減という形に転嫁したものである。フリーアクセス制の制限や過剰診療の中止など改善すべき問題も多いが、システムの改善もなく単なる経費の削減により医療は逼迫し国民の健康は保証されず医療産業も正当に育成されない。変革の時期には方向性を見誤らない判断が必要である。このような困難な時期ではあっても医療の求心力は学問であるという考えを実践し学会活動としては川村明夫理事長主催の全国学会が2つ開催される予定です。またさらなる患者さんのアメニティーの改善のために全病室個室化の増改築工事に入ります。2001年度より組織も医療法人より特定医療法人北榆会となり人工臓器移植遺伝子治療研究所と札幌北榆病院の2組織を有する組織となっております。より進化し改善された組織での充実した医療を患者さんに還元していきたいと思えます。

副院長 笠井正晴

(医)北榆会誌 第十五巻

JOURNAL OF HOKUYUKAI VOL.15, 2002

平成 14 年発行

発行者 川村明夫

AKIO KAWAMURA

発行所 特定医療法人北榆会

HOKUYUKAI

〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 6 丁目

HIGASHISAPPORO 6-6, SHIROISHI-KU, SAPPORO 003-0006

TEL. (011) 865-0111